



【学校教育目標】人間性豊かな心身ともにたくましい社会人になるための基盤を育成する

《めざす子ども像》 ○考える子 ○やさしい子 ○元気な子

〒594-0083 和泉市池上町三丁目14番45号 TEL 0725-45-3840 FAX 0725-45-3850

当たり前の大切さ

困っている人を見たら助けてあげる。泣いている子がいたら「どうしたの？」と声をかけてあげる。身の回りには実にたくさんの「当たり前」の事があります。

「幼い子や弱い子をいじめてはいけない」というのも誰でも知っている当たり前のことですが、世の中でいじめ事件が起きるのは「当たり前にする事の難しさ」があるのだと思います。

私を含め大人は、子どもたちが普通にできることをついつい、あまりにも簡単すぎるので「こんなことはできて当たり前、一々ほめるに値しない」と見過ごしてしまっていることが多いのではないのでしょうか。

たとえば順番を待っている時、割り込む子がいたとします。その子には「ダメです。ちゃんと順番を待ちなさい」と叱りますが、順番をきちんと待っている子は、当たり前のことだと思って、ほめることをしないことがあります。「ちゃんと順番を守って偉かったね」とほめることによって、子どもは「次もしっかり順番を守ろう」と思うでしょう。叱って教えるよりも、ほめて認めてやる方が子どもにとってどんなにうれしいことでしょう。「ほめること」は認めること。

子どもは誰でも自分を認めてほしいと思っています。

当たり前なことを積極的に認めてほめる

通知表がおうちに届きます。お子さんを他の子と比べるのではなく、お子さんの過去と比べて「当たり前にしたこと」を成長の証として喜んで認めてやってほしいのです。他の子と比べれば、自分より良いとされた子には劣等感をもち、そうでない子には優越感をもちようになってしまうからです。

子どもが当たり前のことをしたときには、大いに認めて励ましてやりましょう！

【2学期のおもな予定】

- 8月25日 2学期始業式 27日, 30日 作品展
- 9月1日 給食開始
- 9月25日 運動会
- 10月8日 学習参観 引渡し訓練
- 11月17, 18, 19日 生活懇談会
- 12月24日 2学期終業式



着衣水泳を体験しました。